

責任投資原則（PRI）への署名について

国民年金基金連合会は、責任投資原則(Principles for Responsible Investment：PRI)の考え方に賛同し、2024年5月17日署名機関となりました。

PRIは、2006年に国連の支援により発足したESG（環境・社会・ガバナンス）課題を投資の意思決定に組み込むことを提唱する世界的な投資原則であり、署名機関による国際的なプラットフォームでもあります。

連合会はこれまでも「世界経済の持続可能性がポートフォリオの長期のリスク・リターンに影響を与えるという考えの下、環境・社会・ガバナンスの要素を考慮した投資を行う」ことを資産運用に関する投資原則で定め、ESG要素を考慮した投資を行って参りました。

今回のPRI署名は、連合会の投資原則に沿ったものであり、連合会ではPRIへの署名を通じ、ネットワークの拡大やESGに関する取り組みへの知見の蓄積、レポートイングを通じて、ESG要素を考慮した投資をさらに進めて参ります。

（ご参考）

PRIの6原則

1. 私たちは、投資分析と意思決定のプロセスに ESG の課題を組み込みます。
2. 私たちは、活動的な所有者となり所有方針と所有習慣に ESG の課題を組み入れます。
3. 私たちは、投資対象の主体に対して ESG の課題について適切な開示を求めます。
4. 私たちは、資産運用業界において本原則が受け入れられ、実行に移されるように働きかけを行います。
5. 私たちは、本原則を実行する際の効果を高めるために、協働します。
6. 私たちは、本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関して報告します。

PRI公式ウェブサイト：[PRI | Home \(unpri.org\)](https://unpri.org)